

本学オフィスワークコース学生の
就職活動に関する調査

中畑 裕之・日下 清佳

キャリア研究センター紀要・年報 第9号 抜刷

高田短期大学

令和5年3月

本学オフィスワークコース学生の

就職活動に関する調査

中畑 裕之・日下 清佳

高田短期大学キャリア育成学科

1. 研究の目的

大学生の就職活動について、4年制大学では2年生～3年生の夏休み頃までにインターンシップに行き、3年生の秋～冬に実質的な就活に入るといったイメージができていると思われる。政府が採用活動で企業に要請している、募集要項公開や企業訪問の解禁日は3月1日であるが、早期に人材獲得に動く企業も少なくない。

一方、本学オフィスワークコース学生の就活の動きを見ると、上記のスケジュール感とは異なると感じているが、感覚的には捉えていてもデータとしては整理してこなかった。

来年度からキャリアガイダンスⅡとして就職講座を授業化することもあり、コース学生の就活の実態についてデータを整理し、講義の企画や就活の支援に役立てたいと考える。

2. 本学オフィスワークコース学生の就職活動の状況

(1) 求人受付時期と件数

大学等卒業予定者の採用・就職活動日程について、政府の「要請事項」、大学側の「申合せ」として企業の広報活動（企業説明会等）は3月1日以降とされている。また、職業安定機関での取扱いとして求人受理は2月1日以降となっており、本学でも求人受付は2月以降としている。

本学で受け付けた求人票のうち、保育職や介護職といった特定の専門職種の求人を除いた求人票の受付件数を月別にみると、個別企業での広報活動が解禁となる3月が2021年3月卒以降は最も多くなっている。また、5月～7月にも比較的多くの求人受付があり、2023年3月卒では8月にも33件受け付けている。2020年3月卒は6月の受付が55件と最も多く、3月は7月と並んで36件で2番目となっている。（表1参照）

求人件数が多く学生の進路先としても大きなウェートを占める自動車ディーラーや例年採用がある企業の多くからは2月～3月に求人票を受け付けており、これに対応してエントリーシート提出、企業訪問、面接など、学生の具体的な就職活動が始まる。

2020年3月卒は求人の時期が後ろにずれ込んだ形だが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い緊急事態宣言が発出されるなどしたため、従来の直接会っての採用活動が困難となり遠隔での実施など対応を切り替えなければならなかったことや、景気の先行きへの懸念などが影響したものと推察される。

求人件数の推移をみると、2021年3月卒、2022年3月卒は、2020年3月卒、2023年3月卒と比べ少なくなっている。(表1参照)

これは本学だけの傾向ではない。リクルートワークス研究所の「第39回ワークス大卒求人倍率調査(2023年卒)」(2022年、2022年3月卒業の4年制、大学院2年生対象に調査)では、2020年3月卒の求人倍率は1.83倍であったものが、2021年3月卒の求人倍率は1.53倍、2022年3月卒の求人倍率は1.50倍と低下し、2023年3月卒の求人倍率は1.58倍と若干上昇している。この変動は世界的なコロナ感染拡大による経済活動鈍化の影響が大きいと考えられる。

表1 本学オフィスワークコースに係る求人票の受付件数

月	2020年3月卒	2021年3月卒	2022年3月卒	2023年3月卒 (データ1月まで)
2月	28	29	9	3
3月	36	47	62	64
4月	17	14	7	17
5月	30	10	30	28
6月	55	36	26	40
7月	36	31	30	43
8月	15	4	8	33
9月	23	13	18	19
10月	8	8	17	17
11月	12	10	12	7
12月	3	8	11	9
1月	6	6	8	1
2月	1	0	1	
3月	3	0	2	
合計	273	216	241	281

※本学キャリア支援センターで受け付けた求人票のうち、保育職や介護職などオフィスワークコース学生の就職対象とならない専門職種の求人を除いた件数

(2) 学生の就活開始時期

本学キャリア支援センターで記録しているオフィスワークコース各学生の就活状況を記載した一覧表(以下、就活状況一覧表)から、エントリーシート提出、企業訪問、面接など各学生の就活に関する動きの記録が最初にあった月を見ていくと、3月から始まり4月が最も多く、次いで5月となっている。しかし、就活状況一覧表から見ると4月・5月合わせても動き始めているのは半分程度とみられ、スタ

ート時期は分散しており、年が明けて2月になって初めて具体的活動の記録が出てくる学生も見られる。
(表2参照)

なお、就活状況一覧表については、企業名のみが記載され活動内容が分からないものや〇〇内定とだけ記載されていて経過が分からない記録も少なくないため、傾向として見るのに止めたい。

新卒者の就職活動は卒業前年の夏ごろから始まり春先がピークというイメージが強いが、本学オフィスワークコースの学生については、その動きとはかなり異なっている。

内閣府の「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査 調査結果報告書」(2021年)によると、「採用を目的とした企業説明会・セミナーの参加時期」(表3)、「エントリーシート提出の時期」(表4)「最初の採用面接の実施時期」(表5)のピークはともに3月となっている。しかし、累積割合を見ると2月までに「採用を目的とした企業説明会・セミナー」に参加した学生は65.0%あり、「エントリーシート提出」でも累積で60.5%が提出し、「最初の採用面接」でも50.7%が受けている。採用の広報活動解禁の3月より前に、採用側企業も学生も採用・就職活動に動き出していると言える。

表2 本学オフィスワークコース学生の具体的な就職活動の開始時期

月	2020年3月卒	2021年3月卒	2022年3月卒	2023年3月卒 (データ1月まで)
2月	0	0	0	0
3月	2	5	4	2
4月	19	10	14	14
5月	6	9	9	11
6月	5	2	3	5
7月	1	3	2	2
8月	0	6	1	3
9月	2	2	1	0
10月	0	2	1	1
11月	1	0	0	2
12月	0	1	0	2
1月	0	0	0	1
2月	3	0	0	
3月	0	0	0	
計	39	40	35	43

※就活状況一覧表より筆者作成

表3 採用を目的とした企業説明会・セミナーの参加時期（全国）

全体																
最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	5.8	2.8	5.3	3.6	7.0	5.3	10.1	10.1	14.9	25.9	3.9	1.9	1.5	1.5	0.3	0.0
累積割合	5.8	8.6	13.9	17.6	24.6	29.9	40.0	50.1	65.0	90.9	94.8	96.7	98.2	99.7	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.6	0.5	1.8	0.8	1.8	2.2	3.8	4.9	13.0	41.0	13.0	6.9	4.6	2.9	0.5	2.0
累積割合	0.6	1.0	2.8	3.6	5.3	7.5	11.3	16.2	29.2	70.2	83.2	90.1	94.7	97.6	98.0	100.0

※内閣府「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査 調査結果報告書（概要版）」（2021年）p.26

表4 エントリーシートの提出時期（全国）

全体																	※全て%
最初の提出	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)	
月別回答割合	8.4	5.1	2.9	2.5	4.4	4.1	7.9	10.0	15.1	28.9	5.1	2.6	1.8	0.9	0.2	0.0	
累積割合	8.4	13.6	16.5	19.0	23.4	27.5	35.4	45.4	60.5	89.4	94.5	97.1	99.0	99.8	100.0	100.0	
提出のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)	
月別回答割合	1.1	1.2	0.6	0.5	1.3	1.1	1.8	3.2	6.8	48.6	18.7	7.4	4.3	2.1	0.2	1.1	
累積割合	1.1	2.3	2.9	3.4	4.7	5.8	7.6	10.8	17.6	66.2	84.9	92.3	96.6	98.7	98.9	100.0	
最後の提出	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)	
月別回答割合	0.5	0.3	0.1	0.1	0.5	0.4	1.0	1.6	3.2	14.9	23.8	20.7	14.6	10.1	1.9	6.2	
累積割合	0.5	0.9	1.0	1.1	1.7	2.1	3.1	4.7	7.9	22.7	46.5	67.2	81.9	91.9	93.8	100.0	

※内閣府「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査 調査結果報告書（概要版）」（2021年）p.30

表5 採用面接の実施時期（全国）

全体																	※全て%
最初の面接	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)	
月別回答割合	2.8	1.1	1.0	1.5	4.6	4.8	8.2	10.7	15.9	29.0	12.9	4.3	1.9	0.8	0.3	0.0	
累積割合	2.8	3.9	4.9	6.4	11.0	15.8	24.0	34.7	50.7	79.7	92.6	96.9	98.8	99.7	100.0	100.0	
面接のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)	
月別回答割合	0.7	0.2	0.3	0.2	0.6	0.8	1.7	1.8	5.5	19.4	36.4	19.4	9.4	2.0	0.4	1.2	
累積割合	0.7	0.9	1.1	1.4	2.0	2.7	4.5	6.3	11.8	31.3	67.7	87.0	96.4	98.4	98.8	100.0	
最後の面接	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)	
月別回答割合	0.5	0.1	0.0	0.2	0.2	0.3	0.9	1.1	2.3	6.4	13.4	19.6	32.3	15.2	2.3	5.3	
累積割合	0.5	0.6	0.6	0.8	1.0	1.3	2.2	3.2	5.6	12.0	25.3	45.0	77.3	92.4	94.7	100.0	

※内閣府「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査 調査結果報告書（概要版）」（2021年）p.33

(3) 内々定を受けた時期

本学の学生が内々定を受けた時期を就活状況一覧表から見ていくと、4月・5月で就職学生の2割～3割、6月で4割、7月・8月までで6割～7割の学生が内々定を獲得している。しかし内々定を得る時期のピークは年により違いがあり、例年この時期がピークとは特定しにくい。2020年3月卒、2021年3月卒では9月・10月の内々定獲得が多く、コロナ禍の影響で企業の採用活動が遅れ、内々定の時期も遅くなったことが推測される。

内々定を受けた時期を「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査 調査結果報告書」(2021年)で見ると、内々定を受けたピークは4月の22.5%であるが、累積では2月までで18.8%、3月で33.5%とほぼ1/3が内定を得、4月に56.0%と5割を超えている。

なお、「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査 調査結果報告書」(2021年)では「就職活動の始まりから終わりまでの期間」についても質問しており、「9か月程度以上」の回答割合が4割近くを占め、就活の長期化が進んでいるとしている。

表6 本学オフィスワークコース学生が内々定を受けた時期

月	2020年3月卒	2021年3月卒	2022年3月卒	2023年3月卒 (データ1月まで)
2月	0	0	0	0
3月	0	0	0	0
4月	7	5	6	6
5月	4	5	10	11
6月	13	9	12	7
7月	6	7	10	3
8月	4	7	8	10
9月	7	10	1	2
10月	7	9	1	3
11月	3	1	3	4
12月	0	4	3	7
1月	0	1	4	2
2月	2	0	4	
3月	1	1	1	
合計	54	59	63	55

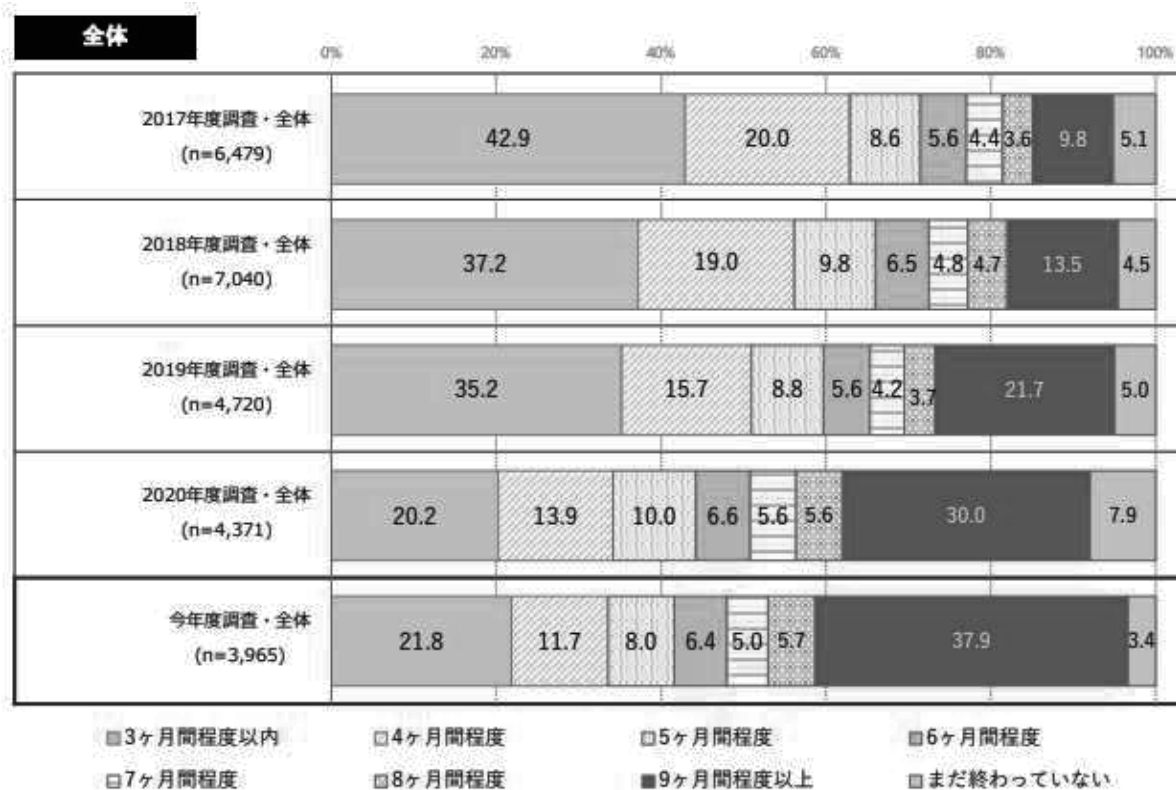
※就活状況一覧表より筆者作成

表7 内々定を受けた時期（全国）

全体 ※公務員・教職員志望者除く ※全て%		6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合		3.5	0.7	0.3	0.3	0.5	1.3	2.9	2.6	6.8	14.6	22.5	18.4	17.3	8.1	0.2
累積割合		3.5	4.2	4.5	4.8	5.3	6.6	9.4	12.0	18.8	33.5	56.0	74.4	91.7	99.8	100.0

※内閣府「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査 調査結果報告書（概要版）」（2021年）p.36

表8 就職活動の始まりから終わりまでの期間（全国）



※内閣府「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査 調査結果報告書（概要版）」（2021年）p.37

3. まとめ

本学の求人票の受付状況から、夏から秋にかけて新たに求人を行ったり、再度求人したりする企業があり、年度後半となっても新規求人が一定あることが確認できた。就活への動き出しが遅い学生も少なくないため、夏以降の求人、求人企業の情報を、これらの学生にしっかりと届け、マッチングしていく必要があると考える。

今回の調査でも現れているが、本学への求人も景気や社会情勢の影響を受けることから、本学に求人票を出してくれる企業を増やしておく必要がある。三重県内の中小企業ではマイナビ、リクナビなどの

就活サイトを利用していない企業が多いことから、求人票を出してもらうことが求人を確認する主要な手段となる。現状、就職希望者はほぼ全員が卒業までに内定を獲得できているが、景気の動向や社会情勢により求人が減っても、学生が選択しながら就職できる程度の求人は確保できるよう、経営状態が良く求人意欲もある企業を開拓しておきたい。

就活の開始時期については、「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査 調査結果報告書」(2021年)の4大生・大学院生と比べると、オフィスワークコース学生の動き出しは時期が遅くなっている。4年制大学と比べて1年次の授業が詰まっているということもあるが、短大に入学した初年次であり、就活に向かう意識がまだ育っていないということも要因と考えられる。企業の採用活動が本格化する3月には積極的に自ら動き出せるよう、精神面、スキル面で準備を整えることが求められる。

一方で、9か月以上も就活を続けるというのは学生にとって精神的、肉体的、金銭的に大きな負担となる。就職活動が長期化すると、途中でリタイヤしてしまう学生が少なからず出てくると考えられる。本学オフィスワークコース学生についてみると、エントリーや最初の企業訪問から1・2か月で内々定というケースが多くなっている。本学学生を継続的に採用している企業や地域の中小企業・医療機関への就職が多く、上場企業など大企業は少ないことが短期で採用が決まる要因と見られるが、短期決戦でも企業に強くアピールでき、選ばれる人材に育て上げることが求められていると考える。

引用文献

株式会社マーケティング・コミュニケーションズ 内閣府(2021) 令和3年度委託調査事業「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」

株式会社リクルートワークス研究所(2022)「第39回ワークス大卒求人倍率調査(2023年卒)」